



各小学校に派遣されるスクールガード・リーダー

平成17年11月に広島市、12月に旧今市市で下校中の児童が殺害されるという大変痛ましい事件が連続して発生したことは記憶に新しいところです。全国で安全強化を図っている矢先に起きたこれらの衝撃的な事件は日本中を震撼しんかんさせました。

市内でも不審者の情報が数多く寄せられているなど、子どもの安全が脅かされています。

そこで各学校や市では、児童生徒の安全確保のため、さまざまな取り組みを行っています。

保護者や地域の皆さんにも地域ぐるみの取り組みによって、子どもたちがより安心した生活が送れるようご協力をお願いします。



児童の登下校を見守る地域の皆さん

子どももの 安全を守るために

子どもたちの 安全確保のために

→ 防犯ブザー

市では小学生と中学生女子の希望者に防犯ブザーを貸与しています。防犯ブザーはランドセルなどに付け、自分で身を守る意識を高めるとともに身の危険を感じた場合にはブザーを鳴らすよう、学校を通じて指導しています。

万が一、自宅周辺などで「ピー・ピー」という警告音が聞こえたら、子どもが助けを求めている合図です。その際には現地に駆け付けたり、周囲の人と協力して子どもを助けてくださるようお願いいたします。



防犯ブザーは定期的に点検を

→ こども110番の家

危険を感じ助けを求めてきた子どもを保護し、警察などに連絡を行う「こども110番の家」を、約2,000の家庭や商店に協力いただいて、市内全域に設置しています。位置などを親子一緒に確認しておきましょう。

→ スクールガード・リーダーを派遣

学校防犯に関わる保護者や地域の皆さん・学校に対して、より良い防犯活動を行うための指導・援助・評価を防犯の専門家の立場から行うスクールガード・リーダーを昨年度から各小学校に派遣しています。

スクールガード・リーダーは小学校1校あたり、1年に3回派遣され、防犯ボランティア養成のためや、学校施設などの防犯上の課題解消についての指導・助言、不審者対応避難訓練および学校安全に関わる校内研修の講師などにあたります。



事前に場所を確認しておきましょう

→ 防犯用品を配付

子どもの登下校時の安全確保のため、保護者やボランティアの皆さんが通学路を巡回する際に使用する防犯用品(パトロールキャップ、懐中電灯、たすきなど)を各小・中学校に配付しましたのでご利用ください。

→ 学校情報配信システム

市では昨年4月から市内の公立小・中学校で「学校情報配信システム」を導入しました。このシステムは学校ごとに、登録した保護者や関係者の携帯電話に不審者などの情報をメールで配信するものです。

各学校から登録手続きの文書が配布されています。登録が済んでいない人は早めに手続きをお願いします。登録されたメールアドレスなどの個人情報は委託業者により厳重に管理されていますので、ほかに漏れることはありません。なお、メール受信時に発生する受信料は登録者に負担していただいています。登録などに関するお問い合わせは各学校または教育指導課までお願いします。



不審者情報などをメール送信

→ 合言葉は「いかのおすし」

子どもを誘拐や犯罪から守るためには、日ごろから子どもたち自身が自分の身を守る対処法を身に付けておくことが大切です。

その際、子どもを連れ去りの犯罪から守るための5つのポイントの頭文字を取った警視庁標語「いかのおすし」は有効です。ぜひ、子どもたちに覚えさせ万が一に備えましょう。

不審者に出会ったら↓

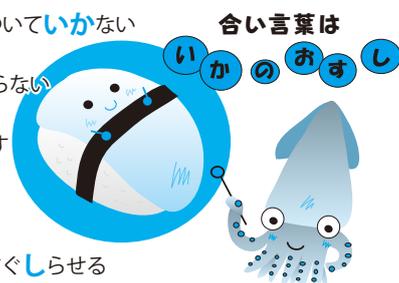
い…知らない人についていかない

の…他人の車にのらない

お…おごえをだす

す…すぐ逃げる

し…何かあったらすぐ知らせる



※くわしくは教育指導課(☎20-1582)へ。